

6人の議員が町政を問う



3月定例会の初日(3/7)に次の事項について一般質問が行われました。(通告順)

- ◆ 中村 忠行 議員 …… P11
 - ①危機管理について
- ◆ 須藤 典夫 議員 …… P12
 - ①以前質問した事項の検討結果はどうなったか
- ◆ 沼澤 道也 議員 …… P13
 - ①これからの地方創生は
- ◆ 高橋 芳夫 議員 …… P14
 - ①中小農家に支援を考えると。
 - ②桜を植え、地区の活性化を考えるとは
- ◆ 寒河江宏一 議員 …… P15
 - ①今後の財政運営について
- ◆ 高橋 浩樹 議員 …… P16
 - ①臨時職員の採用について
 - ②地方自治体首長の退職金について

一般質問とは
 年4回の定例会で行う。議員が町の行政全般について、事業執行の状況や将来の方針等について所信を質し、あるいは、報告や説明を求めるなどの政策論議の場である。
 町議会では、質問要旨を事前に通告することとし、60分という限られた時間内で、大所高所からの建設的で簡明な質問が求められている。

危機管理対策の充実を

回答「防災士」の資格取得支援をする



中村 忠行 議員

災害支援策の制度化を

中村忠行議員 「小規模農地等災害緊急復旧事業」の制度化は、

佐藤産業課長 平成30年8月豪雨は、24時間雨量が312・5ミリと、町の観測史上最大値を記録した。神室ダムや榎沢ダムが機能を発揮したと同時に、川上に位置する町の立地条件を考えると、被害が抑制された面があった。

30年度は、75名より農地・農業用施設101か所についての申請

があり、工事業者の手配がつかなかったこと等により、年度内に実施できなかった方19名については、平成31年度での事業を予定している。一般的に災害において、その発生時期や原因等により、被災施設やその深刻さが異なり、比較的小規模な被災への支援を行う場合には、対象施設・補助率等を事前にすべて想定しておくことは難しく、発災時に定める事が適当と考えている。

小規模な被災に対する支援を行う際に、迅速な支援を行う為に、提出



訓練も気を引き締めて怠りなく

書類等の事務的な内容はあらかじめ要綱に定め、災害発生後は速やかに状況を調査し、国や県への要望活動を行い、県事業が発動した際は、その都度に要綱で定めた上で、運用を考えた。取得支援を。武内町民税務課長 危機管理に関する国家資格として、防火管理者や防災管理者があり、これらは一定規模の管理対象物の防火・防災管理業務を行う責任者であり、災害に備えた避難訓練や災害による被害拡大を押さえる計画策定などを行う資格である。

危機管理に効果的な資格取得支援を

中村議員「防災士」ドローン講習」等の資格



地域を理解することも防災に

30年3月町議会で質問頂いた「防災士」は、山形県では、地域防災力の強化を図ることを目的に、「防災士養成研修講座」を主催している。町としても、地域防災力、自主防災組織の強化につなげる事を目的に、平成31年度当初予算に、2名分の

- 予算を計上している。町としても、自主防災組織に講座受講の呼びかけを行いたい。ドローン講習への支援は、現在のドローン関係の資格が民間資格機関による認定であるため、金山町資格取得支援の対象には入っていない。
- 関連質問
 - 災害ゴミ処理計画の策定は。
 - 災害に際しての企業・団体との協定を。